

ここが聞きたい
一般質問!

「一般質問」とは

町の行財政全般にわたって、執行機関(町政)に対し、一般事務や将来の方針などについて質問し、所信を求めます。町民の生活に関わる身近なことが、議員の一般質問により、改善されたり新たな事業が始まったこともあります。議員は年4回の定例会で一般質問をすることができ、定例会開会前にあらかじめ質問内容を提出し、執行機関が答弁を考えます。質問する議員一人につき60分の持ち時間があり、その時間内であれば何回でも質問を繰り返すことができます。全文詳細はHPに後日会議録として掲載されますので参照ください。

第3回定例会一般質問(9月5日(木)・6日(金))

安元 慶彦 議員

働き方改革への対応は
岡崎総務課長
検証しながら準備中である



岡崎課長 会計年度任用職員を導入については、現行の物件費から賃金がなくなり給与になる。人件費への支出科目の変更に伴い人件費が若干上昇すると思われる。現在、103名の定員で現員数が職員89名である。今後、正規職員、会計年度任用職員を合わせた新体制を構築することで、働き方改革に対応した体制を、現行のままですっきり作っていききたい。なお、働き方改革に取り組むことを理由に極端な人員の増減を行うことは考えていない。

岡崎課長 職員は自覚と責任をもって町に奉職しており、そういった部分は、住民の皆さんにお願いしなくても、しっかり説明責任は果たしていきたいと考えている。

岡崎総務課長 働き方改革は、大きな柱が三本あり、労働時間の長時間化の是正、正規、非正規の不合理格差の解消、また、柔軟な働き方改革の実現という部分で地方公務員もしっかりと対応するようにと、2月1日付で総務省から助言通知があつている。

地場産業育成は

岡崎産業振興課長 昨年12月に解散総会を開催して組合員の了解を得て加工場などの処分を今年6月に実施した。解散の理由は、作業従事者の高齢化と売り上げの減少である。

岡崎課長 解散の相談を受けてから事業の継続を図る観点から羊羹工場の事業継承ができる組織や人などがいないかと、数件当たってきたが、結果として事業継承ができていない。



岡崎課長 事業継承ができるところがなかなか引き続き探している。今現在は再起の用途は未定である。昭和51年にひより柿生産組合を結成してから42年間経過しており、歴史ある事業の継続ということで、今後も対応していきたいと考えている。



友岡 みどり 議員

議会審議を映像配信してはどうか

岡崎総務課長

重要な提案だが議会で十分協議を



岡崎総務課長 執行部側の考えで推し進めるものではない。議会で十分協議し、提案があれば財源は捻出したい。

岡崎総務課長 執行部側の考えで推し進めるものではない。議会で十分協議し、提案があれば財源は捻出したい。

教育環境の充実

岡崎総務課長 職員は自覚と責任をもって町に奉職しており、そういった部分は、住民の皆さんにお願いしなくても、しっかり説明責任は果たしていきたいと考えている。

岡崎総務課長 職員は自覚と責任をもって町に奉職しており、そういった部分は、住民の皆さんにお願いしなくても、しっかり説明責任は果たしていきたいと考えている。

岡崎総務課長 職員は自覚と責任をもって町に奉職しており、そういった部分は、住民の皆さんにお願いしなくても、しっかり説明責任は果たしていきたいと考えている。

岡崎総務課長 職員は自覚と責任をもって町に奉職しており、そういった部分は、住民の皆さんにお願いしなくても、しっかり説明責任は果たしていきたいと考えている。

高齢者へのきめ細やかな支援策は



岡崎総務課長 職員は自覚と責任をもって町に奉職しており、そういった部分は、住民の皆さんにお願いしなくても、しっかり説明責任は果たしていきたいと考えている。

岡崎総務課長 職員は自覚と責任をもって町に奉職しており、そういった部分は、住民の皆さんにお願いしなくても、しっかり説明責任は果たしていきたいと考えている。



▲買い物バスツアー

佐矢野長寿福祉課長 現在、いわゆる買い物難民に対する支援策として、移動販売、宅配、買い物バスツアー事業に取り組んでいる。実施してみると、それほど困っていない方、切羽詰まっている方は、いないように感じている。コミュニティバスを利用してイオン三光に買い物に行っている方も非常に多い。家族、親族や友人と一緒に買い物や通院している方も多く病院も独自で送迎しているところもある。そうした自助、共助、公助の順番を守るべきと考えている。今後は地域福祉会議などを通じて課題、ニーズを把握し必要に応じて何ができるかを検討したいと考えている。